

NEWSLETTER No. 79 ISSN 1340-5578
TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music May 25, 2010

社団法人
東洋音楽学会

会報 第79号

発行 (社)東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
E-mail : LEN03210@nifty.com ホームページ : http://wwwsoc.nii.ac.jp/tog/

目次

第61回 大会のご案内	1	『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	4
第61回 大会の研究発表募集	2	ICTM (国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	4
第27回 田邊尚雄賞受賞者発表	2	第5回芸術学関連学会連合シンポジウムのお知らせ	5
第28回 田邊尚雄賞アンケートのお願い	2	第60回大会発表への異見	5
第81回 通常理事会議決事項のお知らせ	3	会員異動	5
会員の受賞	3	図書・資料等の受贈	7
会費納入のお願い、会費割引のお知らせほか	3	編集後記	7

第61回 大会のご案内

(社)東洋音楽学会は、平成22年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。どうぞふるってご参加ください。

- 日時 平成22年11月13日(土)～14日(日)
- 会場 東京学芸大学小金井キャンパス
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
JR武蔵小金井駅北口より…
京王バス【小平団地行】学芸大正門下車
JR国分寺駅より…徒歩約18分
- テーマ
東洋・アジア音楽の姿(すがた)と心(こころ)と働(はたら)き
- 日程
[第1日]
12:15 受付
13:00 公開講演と公演 仏教音楽の諸相(仮題)
公開講演(1) 声明と声明研究の現在(仮題)
佐藤道子氏(東京文化財研究所名誉研究員)
公開講演(2) 中国の漢伝仏教と音楽(仮題)
袁静芳氏(北京中央音楽学院)

公演 日蓮宗声明と法要式

出演 日蓮宗声明師会

解説 早水日秀氏(本山妙本寺貫首)

- 16:40 田邊尚雄賞授賞式
17:00 通常総会
18:30 懇親会(東京学芸大学・第二むさしのホール)

[第2日]

- 8:30 受付
9:00 研究発表(1)
13:00 研究発表(2)、シンポジウム等
*映像発表を含む。

16:30 閉会

(日程、内容は予定ですので、変更することもあります。)

5. 参加費等 **〈値下げしました!〉**

- 参加費 1,000円
懇親会費 4,000円(学生 2,000円)

大会実行委員会:

遠藤明日香、遠藤徹、尾高暁子、加藤富美子(委員長)、
金光真理子、島添貴美子、比嘉舞、真鍋幸枝、森田敬子

第61回 大会の研究発表募集

第61回大会における研究発表を、下記の要領で募集します。多彩な内容の発表を期待いたします。なお、今回の大会テーマは「東洋・アジア音楽の姿と心と働き」です。テーマに沿った発表を特に歓迎します。「姿」「心」「働き」は、どのように解釈していただいても結構です。

1. 発表形態

(A) 個人発表 口頭発表 20分+質疑応答 10分

(B) 複数人による共同発表あるいは企画 60分~120分(含質疑等)(セッション、討論、シンポジウム等、形態随意。)

(C) 映像発表(個人または共同) 約15分~30分程度の学術映像(「映像の部屋」を設け、第2日に終日ループで上映します。)

2. 申込方法

(A)(B)については、題目(Bは発表形態を付記して下さい)、要旨(Aは800字程度、Bは1000字程度)、氏名(Bの場合は、代表者氏名と構成員氏名)、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス等)、使用希望機材、その他の必要事項を、(C)については、題目、概要(600字程度)、氏名(共同の場合は、代表者氏名と構成員氏名)、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス等)、映像記録媒体、その他の必要事項を明記の上、書面(郵送または電子メールによる送信)で、下記の大会実行委員会までお申し込みください。

3. 申込締め切り:2010年7月9日(金)必着

4. 採否:締め切り後、実行委員会で査読員(学会員)を含めて審査を行った上で決定し、結果を申込者に通知します。

5. 申込宛先:

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学音楽演劇講座遠藤研究室気付
(社)東洋音楽学会 第61回大会実行委員会
E-mail:kanemitu@ynu.ac.jp(金光)

第27回 田邊尚雄賞受賞者発表

第27回田邊尚雄賞は、以下のように決定いたしました。

[授賞者・授賞対象]

A Hugh de Ferranti

“The Last Biwa Singer : A Blind Musician in History,
Imagination and Performance”

2009, New York, Cornell University.

ISBN978-1-933947-13-6(978-1-933947-43-3)

B 塚原康子

『明治国家と雅楽—伝統の近代化/国楽の創成』

2009年12月30日 有志舎 ISBN978-4-903426-29-7

[選考経過]

今回推薦された業績7件について、3月26日(金)、洗足学園音楽大学にて開かれた第27回田邊尚雄賞選考委員会で慎重に審議し、上記2件が選ばれました。

授賞式は本学会第61回大会で行われる予定です。

[授賞理由]

理事会で承認された授賞理由は以下の通りです。

A 本書は、肥後琵琶の伝承者であり、20世紀にあつてなお九州諸国を巡る芸能、宗教者として生涯をまっとうした山鹿良之(1901~1996)を、「最後の琵琶法師」として民族音楽学的手法を用いて細密に描きだした研究である。琵琶語りの歴史や演唱テキスト分析においても充実した内容をもつ本書(英文)により、日本の語り物がアジアにひろがる「語り物音楽、芸能」のなかで相対化される可能性を開いたことの意義は大きい。

B 本書は明治以降、国家の政策によって雅楽とその演奏者が変貌していった過程を、さまざまな視点から総合的に描いた好著である。明治の西洋音楽導入についての研究は多くあるが、伝統音楽の立場から丹念に資料を読み解き立証した点が高く評価できる。巻末の付表「明治・大正・昭和戦前期の楽師一覧」も力作で、資料として今後の研究に寄与する意義も大きい。

第28回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

◇アンケートのお願い

第28回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考・授与されます。その選考対象となる会員の業績について、皆様からの情報を募集いたします。自薦他薦を問いませんので、会員各位の積極的なご協力をお願いいたします。

対象期間:2010(平成22)年1月1日~12月31日。

アンケート締切:2011(平成23)年2月8日(火)必着。

対象期間中も随時受け付けます。

アンケート記入事項:著者名、著書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数を記入してください。

選考委員:大谷紀美子、茂手木潔子、井口淳子(以上継続)、薦田治子、高松晃子(以上新規)

アンケート送り先：〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3
三春ビル307号
(社)東洋音楽学会第28回田邊尚雄賞選考委員会

第81回 通常理事会議決事項のお知らせ

2010年4月4日(日)に東京学芸大学20周年記念飯島会館2階第4会議室において第81回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会(2009年9月26日)以降、4月3日までに申し込みのあった正会員10名、学生会員8名の入会が正式に承認されました。

2) 平成22年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 第27回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

4) 第28回田邊尚雄賞選考委員について

井口淳子、大谷紀美子、茂手木潔子(以上留任)、薦田治子、高松晃子(以上新任)の5氏に委嘱することが承認されました。

5) 参事委嘱について

岡田恵美、サワン・ジョシの各氏に東日本支部参事を委嘱することが承認されました。

6) 次期理事定数および各支部委員定数の件

平成22年度役員選挙における理事定数および各支部委員定数について、理事定数を15名、東日本支部委員定数を11名、西日本支部定数を6名、沖縄支部委員定数を3名とすることが決まりました。

会員の受賞

◇中村仁美氏が第31回松尾芸能賞新人賞を受賞

本学会員の中村仁美氏が第31回松尾芸能賞新人賞(邦楽部門)を受賞されました。伶楽舎の筆楽奏者として活躍する一方、独奏者として意欲的な活動を繰り広げ、独奏楽器としての筆楽の可能性を、自身が作曲家に委嘱する新作なども交えながら高めた点が評価されたものです。授賞式は、3月29日にANAインターコンチネンタルホテルにて行われました。

◇飛鳥寛栗氏が第44回仏教伝道文化賞功労賞を受賞

本学会員飛鳥寛栗氏が、第44回仏教伝道文化賞功労賞を受賞されました。94歳になられる飛鳥氏の、長年にわた

る仏教音楽の研究・向上・普及への尽力、収集した資料のコレクションである「仏教音楽コレクション・A」を1977年に創設し、主宰をつとめてこられた実績が認められ、財団法人仏教伝道協会より授与されました。贈呈式は3月18日、仏教伝道センタービル(東京・芝)にて行われました。

会費納入のお願い、大学院生・研究生会費割引のお知らせほか

◇会費納入のお願い

2009年度の会費請求書と振替用紙を別便で郵送しました。また2008年度分を未納の方にも、請求書を発送済みです。請求書の金額をお確かめの上、お払い込みください。なお、本誌と行き違いに納入された場合は、どうぞご容赦ください。

◇大学院生・研究生の会費減額措置

大学院生・研究生は、所定の手続きにより会費の減額を受けることができます。以下の書類を、7月31日までに学会事務所にご提出ください。

1) 大学院生：申込用紙(「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピー)

2) 研究生：申込用紙(「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書(書式自由))

申し込み用紙は学会のHPからダウンロードするか、学会事務所にご請求下さい。ただし次の点にご注意ください。

- ・一回の申請はその年度に限り有効です。年度を越えて減額措置を希望する場合は改めて「減額措置願い」をご提出ください。
- ・複数年度の会費を前納することはお控えください。
- ・年度をさかのぼっての申請はできません。
- ・研究生は理事会の承認を得た場合に限り会費減額が可能です。

◇各種発表・論文投稿資格と会費納入の関連について

本学会では、卒論・修論発表、例会・大会発表、機関誌への投稿は、当該年度までの年会費を支払った会員のみが有する権利とみなされます。会員各位は、発表申込、投稿時に会費納入の有無をご確認ください。

卒論・修論発表者は、発表した時点でその年度の会員として登録されますので、退会届を提出しない限り、継続的に年会費を支払う義務が生じます。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第76号(2011年8月刊行予定)の原稿を募集します。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規定」および学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください(学会ホームページをご覧になれない場合、機関誌編集委員会にご請求ください)。

原稿の送付先: 学会事務所(「機関誌投稿原稿在中」と明記)

送付方法: プリントアウトした原稿を送付すること。ただし、書留郵便にはしないこと。(直接持参、メール添付は受け付けません。)

締め切り: 2010年12月11日(金) 必着

出版された著書や視聴覚資料を、学会あるいは機関誌編集委員会に1部寄贈いただけませんか。寄贈いただいた書物は、編集委員会で回覧し、書評対象本として前向きに検討させていただくことになります。どうぞよろしく願います。(機関誌編集委員会)

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1. ICTM 東アジア音楽研究会 第2回研究会

— 韓国、2010年8月24~26日

ICTM 東アジア音楽研究会(MEA)は、第2回研究会を2010年8月24~26日(火~木)に、韓国ソナム市(Seongnam)内のthe Academy of Korean Studiesで開催します(以前、誤ってソウルとお知らせしてしまいました。ソナム市はソウル市中心部から南約26キロの位置にあります)。現在、最終的なプログラムを調整中ですが、今回はたくさんの発表申込があり、3セッション同時進行という、前回よりも大規模な大会となる予定です。オブザーバーとしての参加はICTMの会員でなくとも可能です。この機会に多くの東洋音楽学会員の皆様の参加を期待しています。当研究会についての詳細は、MEAのウェブサイト(<http://www.gim.ntu.edu.tw/mea/conference.htm>)をご覧ください。2006年に正式に発足したMEAは、第1回研究会を2007年12月に中国の上海音楽院にて行いました。今年度以降、MEAはICTMの世界大会が行われない偶数年度に研究会を催す予定です。第2回研究会の大会テーマは以下の通りです。

1. Intangible Cultural Heritage in East Asia: History and Practical Results

2. Recordings and Films or The Potential and Pitfalls of Audio-Visual Technology and Materials
3. Reconsidering Sacred and Profane in East Asian Ritual Music
4. Asian Music in Music Textbooks for Primary and Secondary Schools in East Asia
5. Asian Soundscapes and Cyberspace
6. New Research

発表申込をされた方へ

発表を行うにあたってはICTMの会員であることが条件です。非会員で発表予定の方は、ICTMへの入会手続きを行ってください(入会についての詳細<http://www.ictmusic.org/ICTM/info.php>をご覧ください)。

MEA 理事会メンバーについて

現在MEA理事会は、会長 Yingfen Wang (台湾)、副会長 Larry Witzleben (アメリカ合衆国)、事務早稲田みな子(日本)、通常理事3名、Sheen Dae-Cheol (韓国)、Xiao Mei (中国)、Um Hae-kyung (英国)によって構成されています。通常理事の3名は2010年の第2回研究会をもって任期満了となります。選挙により新たに4名の通常理事が選出され、結果は韓国の研究会で発表されます。

2. 第41回 ICTM 世界大会開催について

次回のICTM世界大会は、2011年、カナダのニューファンドランド島(Newfoundland)のメモリアル大学(Memorial University)で、7月13~19日に行われます。大会テーマ

1. Indigenous Modernity
2. Cross-cultural Approaches to the Study of the Voice
3. Rethinking Ethnomusicology through the Gaze of Movement
4. Atlantic Roots/Routes
5. Dialogical Knowledge Production and Representation: Implications and Ethics
6. Acoustic Ecology
7. New Research

発表申込締め切り: 2010年9月7日(火)

発表要旨の審査結果のお知らせ: 2010年12月

本大会の詳細は、<http://www.mun.ca/ictm> をご覧ください。

3. ICTM 担当委員からのお願い

1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうち ICTM 会員に対して、ICTM担当委員より不定期にICTMに関連するお知らせを

一斉メールで送信しています。しかし、アドレスが無効になっているなどで戻ってきってしまうケースがいくつかあります。一番最近の会員向け一斉メールは2010年4月27日に送信しました。このメールを受信されなかった方は、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合、お手数ですが、担当委員(早稲田:minako_waseda@msn.com)までご連絡ください。また、現在 ICTM 会員でない方も、ICTM に関するメール連絡を希望される場合は同様に、ICTM 担当委員までお知らせください。

2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM 担当委員が MEA のメンバーであるため、MEA に関する情報は会報、機関紙、一斉メール等で皆様に随時お知らせしていますが、他の ICTM 内の研究会については情報薄です。他の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に発信します。ご協力、よろしくお願いいたします。

(ICTM 担当委員:早稲田みな子)

第5回藝術学関連学会連合シンポジウムのお知らせ

日時:6月12日(土) 13:00~

会場:東京都現代美術館

テーマ:変容する〈芸術〉生成の「場」

パネリスト:(調整中)

趣旨:従来、〈芸術〉生成の「場」の役割は、美術館や劇場など各種の文化施設が果たしてきたが、現代は、倉庫や閉鎖工場を拠点として、またビル壁面の巨大液晶画面を通して、生活との明確な「切断」なしに〈芸術〉は生成している。その変容の提起する諸問題について、芸術学関連の各専門分野から横断的かつ鋭角的に論じ合う。

お問い合わせは、藝術学関連学会連合担当・金城厚まで

第60回大会発表への異見

第60回大会の山本華子氏による発表「李王職雅楽部の日本公演(1924年)が意味するもの—『都をどり』との関わりから」について
(廣井榮子)

発表後の質疑では山本氏の出された結論について時間制限もあって十分に議論できなかったので、理事会の了承を得た上で、先行研究者として一言申し上げたい。これまでの研究によれば、1924年の都をどりの不振の直接の原因は天候不順と馴染みのない朝鮮芸能に対する日本人の無理解にあり、在日朝鮮人の無料招待という戦術も不振を補うためであっ

た(以上、末尾文献参照)。この点、都をどり不振の原因が芸妓の芸の稚拙さにあるとし、在日朝鮮人の無料招待について「民衆融和」説を唱える山本説は興味深い、論拠となるべき十分な新資料・新解釈がなかった点は残念に思う。資料の収集・吟味も含め、新規な研究として評価が得られるよう今後の充実に努められたい。

①「都をどりに『歴史』を聴く」『無形文化財と記録・保存—都をどりの一六ミリ映画を題材として』(2001年、立命館大学)②「『伝統の都』の近代—博覧会の音楽芸能がはらんでいたもの」『音楽学とグローバリゼーション』(2004年、日本音楽学会)③「花街に創出された『異空間』—大正期の都をどりにおける『琉球』と『朝鮮』の事例をめぐって」『近代日本における音楽・芸能の再検討』(2010年、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター)

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2010年1月~4月、訂正箇所は下線部)

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2010年1月～4月、到着順)

- 『楽道』1, 2, 3, 4月号 正派邦楽会
『東方學會報』No. 97 (財)東方学会
『音楽学』第54巻2号、第55巻1号 日本音楽学会
『ぎふ民俗音楽』第82, 83号 岐阜県民俗音楽学会
『仏教音楽への招待』 飛鳥寛栗著 本願寺出版社
『日本仏教洋楽資料年表』 飛鳥寛栗編 法藏館
『アラブの音文化—グローバル・コミュニケーションへの
いざない』
西尾哲夫・堀内正樹・水野信男編 スタイルノート
『「視覚表象と音楽」ジェンダー史叢書4』
池田忍・小林緑編著 明石書店
『研究紀要』XXX エリザベト音楽大学
『民俗芸能研究』第47号 民俗芸能学会
『美学論究』第二十五編 関西学院大学文学部美学研究室
『近代中国における音楽教育思想の成立—留日知識人と
日本の唱歌』 高婷著 慶應義塾大学出版会
『「北東日報」「釧路新聞」掲載アイヌ関係記事
(1901～1942): 目録と紹介 北海道立アイヌ民族文化研
究センター調査報告書6』
『研究紀要』第16号 北海道立アイヌ民族文化研究センター
『演劇博物館グローバルCOE 紀要「演劇映像学2008
報告集」「演劇映像学2009 第1, 2, 3, 4集』
『演劇博物館グローバルCOE 紀要「演劇映像学2007
第1～3集」「演劇映像学2008 第1～4集、演劇映像
学2007 報告集1～2」「演劇映像学2009 第1～4集、
演劇映像学2008 報告集』(CD版)
『News Letter』No. 7
早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム
『The Last Biwa Singer - A blind musician in history,
imagination and performance』
Hugh de Ferranti 著 East Asia Program, Cornell
University

また、紙数の関係で、新刊図書、視聴覚資料のご案内は
次号に譲りました。

会報編集委員

理事：高桑いづみ、横井雅子

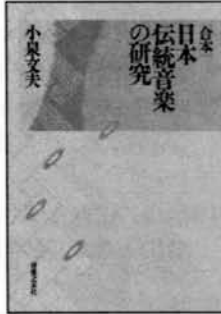
参事：荻野珠、重田絵美、柴田真希、星野厚子、
柳澤久美子、山口かおり

編集後記

79号をお届けします。今号は、今年度開催される大会のご
案内がメインです。みなさま、ふるってご参加ください。

今回、はなはだ異例のことですが第60回大会への異見が
載っています。本来、大会での発表は、発表時に当事者同士
で情報や意見の交換を行うべきものですが、今回の異見は理
事会で承認した上で掲載することになりました。ご了承ください。
さい。

合本 日本伝統音楽の研究



小泉文夫 著

復刊にあたり「日本伝統音楽の研究1(民族研究の方法と音階の基本構造)」と「日本伝統音楽の研究2(リズム)」を合本とし、解題を付す。

B5判・548頁
定価10500円
(本体10000円+税5%)
ISBN978-4-276-13312-9

日本音楽基本用語辞典

音楽之友社 編

雅楽からアイヌ音楽まで、日本音楽の基本的な用語をジャンル別に解説したハンデいな辞典。

A5判・192頁
定価1890円
(本体1800円+税5%)
ISBN978-4-276-00182-4



沖縄音楽入門

金城 厚 著

四六判・208頁
定価2520円
(本体2400円+税5%)
ISBN978-4-276-30703-2

ドレミを選んだ日本人

千葉優子 著

四六判・288頁
定価2625円
(本体2500円+税5%)
ISBN978-4-276-21257-2

ワールドミュージック / 世界音楽入門

ポールマン 著 柘植元一 訳

四六判・248頁
定価2730円
(本体2600円+税5%)
ISBN978-4-276-13532-1

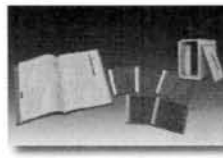
〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 音楽之友社 TEL 03-3235-2151 <http://www.ongakunotomo.co.jp>



双調の曲 初世宮下秀冽傑作集
シルクロードの民俗楽器を導入した大作「風花無限」(昭和57年度芸術祭賞優秀賞)を収録。
CD: VZCGG-733 税込定価2,500円(税抜価格2,381円)



歌舞伎の囃子 堅田喜三久
人間国宝・堅田喜三久の構成による、本邦初「音で聴く囃子の手付帳」の初CD化!
CD: VZCGG-719 税込定価3,000円(税抜価格2,857円)



能楽囃子体系
昭和48年度芸術祭大賞受賞作品(LP6枚組)に「補遺篇」LP2枚組を含め完全版としてCDで復刻!
金春惣右衛門/増田正造
CD: VZCGG-8421~8428(8枚組) 税込定価24,990円(税抜価格23,800円)



鬼の女の子守唄 桃山晴衣
人と出合い、自然と融れ合い、理想のうたを求め、旅を続けさせたうたのまればじと、桃山晴衣の生命讃歌。
共演: ハムザ・エルディーン
SHMCD: VZCGG-718 各税込定価3,000円(税抜価格2,857円)
※SHMCDはすべてのCDプレイヤーで再生可能です。



弾き詠み草 桃山晴衣
静寂にともなひ澄みわたる彩りのうた二編。近代文学をモチーフにうたの語りの新境地を拓いた桃山晴衣の初アルバム。
SHMCD: VZCGG-717



夜叉姫 桃山晴衣
「梁塵秘抄」にまつわる史実を題材に古曲宮内省の手を用いて創出した開朗的な浄瑠璃世界。
SHMCD: VZCGG-716



1200年を越えて続けられてきた、荘厳で劇的な法会の実況録音盤!
「行と折り」の録音が、最新デジタル・マスターリングで甦える。
「走り」連陀「後夜の悔過作法」を収録!
(オリジナルLP盤・1973年発売 朝日ソノラマ)
お水取り 東大寺修二会 語り 小沢昭二
CD: VZCGG-731 税込定価3,000円(税抜価格2,857円)
●修二会の概要と収録音源について詳細に記した豪華解説40頁。写真多数。
●別冊付録: 聴聞に役立つ資料を満載したお水取りハンドブック(全48頁)
【後夜の悔過作法の全詞章も掲載!】